

桑名市行政改革推進委員会 会議概要（抜粋）

日時・場所	平成31年1月30日(水) 13:30～15:30 桑名市役所本庁舎 3階 第2会議室
出席者	委員：5名 市：1名 事務局：17名
会議次第	1 副市長あいさつ 2 議案 (1) 桑名市総合計画における行政改革大綱の見直しに向けて 3 その他
概要 (主な意見)	<p>2 議案 (1) 桑名市総合計画における行政改革大綱の見直しに向けて</p> <p><u>○行政改革大綱 見直しの必要性について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度調査結果をみると、平成27年度の総合計画策定時（前回調査）から満足度が向上しているものや、重要度が高くなったものがある。 「行財政改革」についても重要度が高いと捉えられているようにみえるが、どのようにこの結果を捉えて、次につなげていこうと考えているか。（野呂委員） ◆前回調査と比較して、「行財政改革」の市民満足度は上がっていることから、痛みを伴いながら縮減の方向で改革を行ってきたことについて、一定の理解度が得られていると感じている。 また調査結果から「行財政改革」のうち重点を置く必要がある取り組みとして回答が多かった「財政の健全化（財政基盤強化）」については、行政改革大綱の見直し中でも重要視していきたい。 ・資料は分かりやすくまとめてあると思う。ただ、これまでの取り組みを否定するのではなく、もう少し表現を工夫してもらえると、なお良いのではないか。（丸山委員長） ◆新たな行政改革大綱（案）では、これまでの取り組みも踏まえて前向きな表現を含めた計画としていきたい。 ・国からは、AI・RPAが人に替わる役割のものというの言われているところであるが、行政の業務をすぐにシフトしていくことはなかなか難しいと思われる（丸山委員長） ◆導入が難しい分野もあるが、桑名市においても一部の業務では、RPAの適用を試行的に実施している状況【別添資料】であり、徐々に成果が出ているところである。 新たな行政改革大綱（案）では、「技術革新の成果を活用すること」も意識して、計画に盛り込んでいきたい。

○前期基本計画の検証について

- ・行財政改革の目的が「無駄な仕事・費用の削減の実現」であれば、「職員数の推移」をKPI（指標）にすべきではなく、「総労働時間」ではないか。
- ・面積は広くても税金収入の少ない施設、床面積が小さくても税金収入の多い施設等様々であるため、「総量削減（延床面積の削減）」を指標にすることについて、再度検討をして欲しい。（伊庭委員）
- ◆各種指標（KPI）設定については、検討課題としてきたところであるが、年度ごとにお示しする実施計画の中で盛り込んでいく予定である。

- ・スペシャリストの登用は、難しい問題。専門人材だけの登録を行っている人材派遣の会社もある。職員として採用するのではなく、そういった会社を通じて短期間でも専門的な知識がある方を活用することができれば、人材のニーズマッチングが行われるのではないか。また、職員にとっても知識の交流があり刺激になるのではないか。（野呂委員）
- ◆長期にわたる雇用だけではなく、条例改正を行い、期限付きの雇用制度を取り入れ始めている。本市で実績があるのは、弁護士であるが、今後も必要とされる分野の専門家を採用していきたいと考えている。

- ・モノの部分で、個々の施設について統廃合や多機能化についての進み具合はどうなっているか。総論賛成、各論反対など多いと思うが、着実に進めていただければと思う。（野崎委員）
- ・公共施設に関する問題は以前からの課題になっていると思うが、民間から色々アイデアをもらって方向性を検討していくことは大切である。不要な施設をただ廃止するだけではなく活用していくことも大切である。しかし、施設自体の老朽化の問題もあり、保有しているだけでコストがかかる施設も多くあると思うので、さらなる検討が必要である。（丸山委員長）
- ◆ファーストステップで提示した、年間削減総量目標値 2万9千㎡に対して、平成 29 年度は達成率 5% ぐらいであったが、平成 30 年度は 55% ほど進んでいる。（平成 31 年 1 月 30 日現在） ※平成 30 年度 最終的な達成率：61.8%
新たな行政改革大綱においても、より一層、複合化、多機能化、シェアなど取り組みを後押しする計画としていきたいと考えている。

○桑名市総合計画における行政改革大綱の見直しに向けて

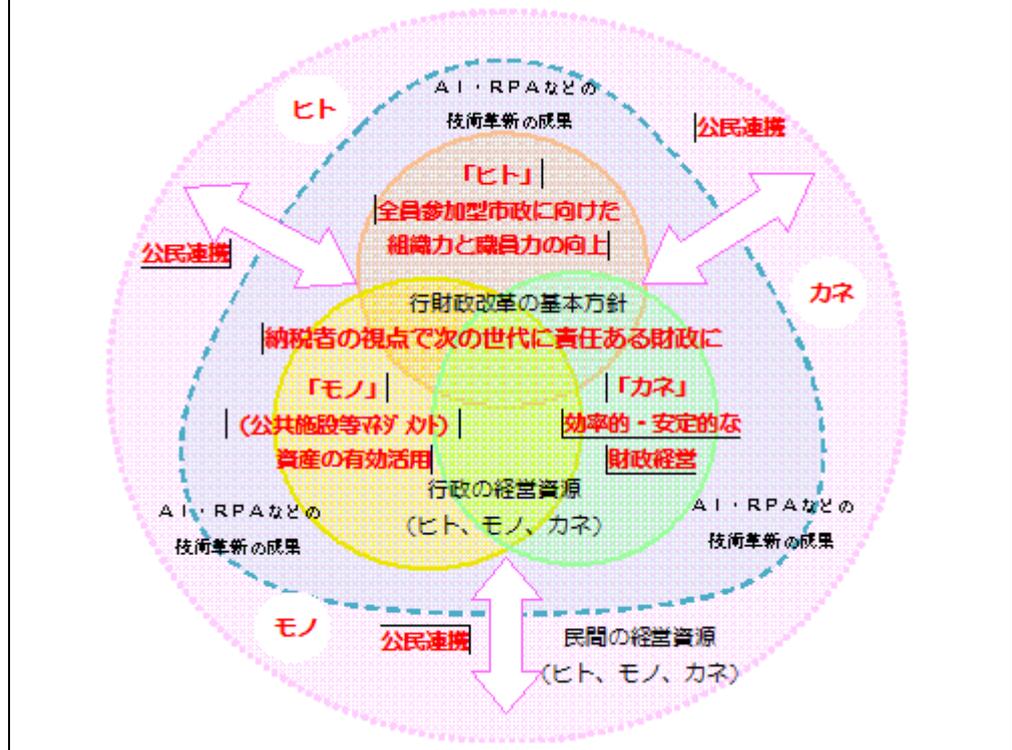
- ・今までの議論の中で見て、非常に良い絵だと思う。強い思いで進めて欲しいと思う。大賛成。（野呂委員）

- ・「市民ニーズの多様化や社会情勢に変化等を踏まえ、人口減少時代のパラダイムの転換に注力し、変化に耐えうる持続可能なスマート自治体へ転換します」の部分について、文章として少し分かり難い感じがするのと、急に出て来る感じがする。もう少し検討してもらったほうが良いのではないか。（丸山委員長）
- ◆一般市民の方が見て、分かり難いと思われる表現については、極力平易な表現や注釈をつけるなどの対応を行い、今回お示しさせていただいた。

・AI・RPAにウエイトが大きく置かれており、行革にすべてつながっていくような印象になっている。AI・RPAは公民連携の中の1つのツールの位置づけのような気もするが、この図では3か所も入っている。

技術革新を活用することは悪いわけではないが、AI・RPAがどこまで進んでいくかわからない中、再度検討してほしい。（丸山委員長）

【前回お示しさせていただいたイメージ（図）】



◆ご意見を踏まえ、イメージ（図）を見直しさせていただいた。そのような中、改めてご意見を伺いたいと考えている。